

令和 7 年度 主な子ども・子育て支援事業について

【学校教育課】

(1) 教育相談事業（継続）

20,430 千円

(前年度当初 19,591 千円)

- ・スクールカウンセラー等による悩みや不安を抱える児童生徒の相談支援体制の充実を図るとともに、個々の状態に応じた指導をすることにより、「いのち」の大切さを学ぶ教育を推進する。

(2) 不登校支援メタバース活用事業【新規】

22,780 千円

- ・仮想空間（メタバース）を活用した交流・学習支援の環境を整えることで、学校や教育支援センター等に登校・通級できない児童生徒へサードプレイス（自分で選択した場所）を提供し、社会的な自立にむけた支援を実施する。

(3) 子どもの命を守る安全対策事業（継続）

2,701 千円

(前年度当初 2,698 千円)

- ・児童生徒が安全・安心に生活する意識の高揚を図るとともに、安全に関して主体的に判断し、行動できる能力を高める。

(4) 教育支援員配置事業（継続）

126,883 千円

(前年度当初 105,166 千円)

- ・教育支援員の資質向上及び個別の支援を要する児童生徒への適切な対応により、確かな学力の向上につなげる。

(5) 医療的ケア児支援事業【新規】

8,090 千円

- ・医療的ケアが必要な児童生徒及び保護者への支援を確保する。

（６）教育活動充実事業（継続）

１３，２３４千円

（前年度当初１３，４００千円）

- ・児童生徒の能力・学力を把握し、補充指導や授業改善に活かすとともに授業の在り方や小中連携を意識した算数・数学、英語の授業改善と小中９年間を見通した学びを推進し、「確かな学力」の育成を目指す。アンケートの実施と分析により学び合う集団を育成する。

（７）外国語指導助手招致事業（継続）

７，５６８千円

（前年度当初８，４３１千円）

- ・ＡＬＴ（外国語指導助手）を配置し、多様な文化や個性を認め合える国際理解の基礎を涵養することにより、変化に対応し、社会で自立できる力を育成することにより、確かな学力の向上につなげる。

（８）小中一貫教育推進事業【拡充】

２，６０３千円

（前年度当初４，１４９千円）

- ・「まなびの樹」推進会議を実施し、児童生徒・学校・地域の実情等を踏まえた具体的な教育内容への助言をもらうことで、教職員の質を高め、さらなる酒田方式の小中一貫教育を推進する。

（９）自然体験学習事業（継続）

３，７５９千円

（前年度当初３，７４７千円）

- ・生まれ育った酒田の自然を体験することにより、酒田の自然の素晴らしさを誇りに感じる子どもを育成する。